令和8年度　食育コンクール入賞者と作品名

			金賞	銀賞（ぎんしょう）	銅賞	佳作	奨励賞	奨励賞
スローガン	小・中学生	所属 氏名	宮内小学校4年　石堂（いしどう）　日向汰（ひなた）	八幡浜南小学校6年　中野（なかの）　陽仁（はるひと）	宮内小学校6年　竹井（たけい）　雫（しずく）	八幡浜南小学校2年　鈴木（すずき）　風和織（ふわり）	松蔭小学校 3年　楠本（くすもと）　夢来（ゆら）	宮内小学校4年　弘中（ひろなか）　祐月（ゆづき）
		作品 ・ 審査員 コメント	今日の「おいしい」が明日の元気 ふるさとまるごといただきます！ 今日の食事が明日の元気へつながり、おいしく食べられることは元気な証拠であることも感じられます。食べることが楽しみになり、食欲がわいてきますね。また、ふるさとの恵みにも感謝している様子が伺える素敵なスローガンです。	食べて知る　地元のめぐみ　守る未来 実際に食材を食べて地元の恵みを知ることが、八幡浜の未来を守ることにつながるというメッセージが簡潔に表現されています。	食べて知る　八幡浜の味　未来まで まずは、八幡浜の食材を味わうところからスタートです。子どもから次の世代へと受け継いでいってほしいという思いが伝わります。	八わたはまの おいしいをあさから食べて 元気なまい日！ 「朝食をとる（時間・習慣）」×「八幡浜の美味しいもの（地域・食材）」×「元気（健康）」という、今回の課題解決に必要な要素がすべてバランスよく、かつキャッチーに詰まっており、非常に説得力があるスローガンだと思います。	みんなで食べよう　八幡浜の たからもの ポジティブな表現で、朝食・野菜・柑橘類の摂取という八幡浜市の食に関する課題を、まるごと解決に導くことが期待できるスローガンだと感じました。	「おいしい！」を作ろう 地元の1品を　食卓の1皿へ 八幡浜の特産品を使った郷土料理が、日常の食卓に並び、楽しい食卓が目に浮かぶ素敵なスローガンですね。
	高校生 一般	所属 氏名	八幡浜高等学校2年　大西（おおにし）　舞香（まいか）	八幡浜高等学校1年　平岡（ひらおか）　良太（りょうた）	八幡浜高等学校1年　今西（いまにし）　結愛（ゆら）	八幡浜高等学校1年　植田（うえだ）　帆乃夏（ほのか）	八幡浜高等学校1年　西岡（にしおか）　百花（ももか）	
		作品 ・ 審査員 コメント	八幡浜の恵みを毎日の食卓へ。 地産地消で未来も元気！ 八幡浜でとれる食材を毎日食卓に出すこと。これが地産地消を促すために最も分かりやすいと感じました。そして、新鮮な食材を食べて元気に過ごしてほしいと願う思いも伝わります。	食べるって最高！ 地元の味でつながる未来 「食べるって最高！」の言葉には、心身の健康と地元食材のおいしさや新鮮さなど地産地消の良いところが含められた「最高！」であり、その地元の味が健康を作り、地域の発展を含めた未来へつながることが表現されていて、八幡浜の味も最高と思えるスローガンです。	朝の一品地元から！ 八幡浜産で元気をプラス 朝食に地元産を一品取り入れるという、誰でも実践しやすい言葉で、八幡浜市の課題（朝食の充実、地産地消）解決に必要な要素が非常に実用的かつスマートにまとまっています。とても前向きで説得力のあるスローガンと感じました。	地元の味　未来へつなぐ あなたのひとくち 一人一人が、地産地消を心がけて食べることが、地元の新鮮な恵みを守り、未来へ繋げていく懸け橋になるという思いが伝わりました。	地産地消でつながる笑顔 今日も美味しくいただきます 「地産地消」と「食への感謝・笑顔」という普遍的で温かいテーマを美しくまとめられています。最後にとても前向きになれるフレーズで締められている点もステキですね。	